



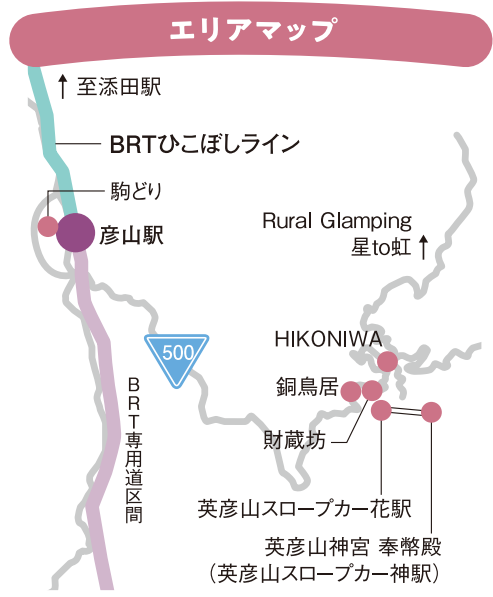
1 スロープカーで神宮へ。 英彦山の魅力を再発見 添田コース①

コース満喫目安時間：4～5 時間

福岡県添田町と大分県との県境に連なる、修験道の山として知られる英彦山（ひこさん）の魅力を満喫するコース。路線バスやゆっくりと斜面を上り下りするスロープカーで、歴史ある英彦山神宮や宿坊などを巡ってみよう。途中、石段もあるので歩きやすい服装で。

このコースの注意点

- ！「添田町バス」は往復5便（土日祝は4便）のみ。
12/29・30は運休
- ！スロープカーは20分間隔で運行
- ※BRT彦山駅での、添田町バスとの接続に関して、時間帯によっては1時間近く間隔が空いてしまうため、事前確認は必須！



4

BRT彦山駅から英彦山方面へのお出かけにはこちら！

添田町バス

運行車両の目印は、「添田町バス」の文字と添田町のマスコットキャラクター「ひこちゃん・ゆずちゃん」のイラストです。運行情報はこちらから→



1

英彦山の恵みをスイーツに込めて。

①HIKONIWA

英彦山の中腹に立つ絶景カフェは、もともと観光案内所だった山小屋風の建物を再利用。居心地良い空間ではお土産品も販売している。英彦山の水を使った自社製造の豆乳から豆乳ケーキを手作りして、上品な見た目どりの繊細な味わいが人気だ。

☎0947-85-0645 添田町英彦山 724-1
🕒11:00～15:30
📅月・火曜（祝日の場合は営業）



2



3

- ① 椎茸の加工品や彦山ようかんなど地元のお土産も販売。
- ② 豆乳チーズケーキ（400円）、抹茶豆乳生チョコケーキ（500円）、豆乳生チョコケーキ（400円）。他にも豆乳を使ったスイーツやドリンク、季節のカレーセットなど。メニューは今後も追加予定。
- ③ ドリップコーヒー（600円）は1杯ずつ丁寧に淹れてくれる。

徒歩15分



5

6

- ④ 江戸時代の駕籠（かご）をモチーフにした新しい英彦山スロープカー。土日など乗客が多い日は2両編成で運行。⑤ 車内から絶景を眺められる。⑥ 花駅内の売店が、添田町の自慢の一品を販売する「添田英彦商店」としてリニューアルオープン。

スロープカーで7分+徒歩1分

花や紅葉、雪景色…車窓からは四季の絶景。

②英彦山スロープカー

駐車場のある「花駅」と、英彦山神宮奉幣殿の最寄駅の「神駅」間を7分で結び、20分間隔で運行。2023年3月に車両が新しくなったと同時にリニューアルした花駅内のお土産売り場「添田英彦商店」には、添田ならではの選りすぐりの産品も並ぶ。また花駅2階には入場無料の山伏文化財室も。



☎0947-85-0375
添田町大字英彦山 1487
🕒上り8:40～16:40、下り8:50～17:10
※天候等により変更あり
📅なし 📍片道 350円、4歳～小学生 250円



北岳・中岳・南岳の3つの山頂を持つ標高1199.5mの英彦山。日本三大修験山として栄え、山中には多くの神社や史跡が点在している。3つの山頂は登山道で結ばれ、いずれも半日程度で登ることが可能。中岳山頂には英彦山神宮の上宮（写真）があり、奉幣殿から上宮までは徒歩約1時間30分。

1000 年超にわたる祈りの歴史を感じる。

③英彦山神宮

古くから信仰が根付いていた霊山で、日本三大修験道のひとつである。山頂の上宮と奉幣殿との間に、中津宮、下津宮も存在する。現在の奉幣殿は小倉藩主細川忠興によって1616年に再建されたもので、1907年に国の重要文化財に指定された。

☎0947-85-0001
添田町大字英彦山 1
🕒9:00～17:00
📅なし



神駅よりスロープカーで7分+花駅より徒歩6分



国指定重要文化財の英彦山神宮奉幣殿。



参道沿に残る宿坊をのぞいてみよう。

④財蔵坊

英彦山で唯一完全な形で残っている宿坊で、現役の囲炉裏や茅葺き屋根が特徴的。現在は添田町歴史民俗資料館として活用されている。「英彦山がら」絵付け体験は3月～11月の第4日曜11時～14時のみ行っており、1人500円、15分程度で完成。



徒歩2分

佐賀藩主が寄進した
青銅製の由緒ある鳥居。

⑤銅鳥居

石段の参道口にある、高さ7mの鳥居。1637年、英彦山を深く崇敬していた佐賀藩主の鍋島勝茂が寄進した。100年後の1734年に京都から運ばれて架けられた『英彦山』の特徴的な扁額も見。さらに石段を下り国道へ2分ほど歩くとバス停がある。



石畳の参道が始まる「銅鳥居」。11月にはそばの大イチョウが色づく。

☎0947-82-1236(添田町商工観光振興課)
※絵付け体験070-4126-8733(添田町観光ガイドの会) ⑥添田町大字英彦山1249
⑦3月第3土曜～12月第1日曜の期間の土・日曜・祝日10:00～15:00
⑧月曜～金曜、冬季 ⑨入館無料



／こちらもおすすめ／



④ヤマメ塩焼き、ヤマメ刺身、鯉こくなどが付いた「松定食」2,500円。⑤仕入れたヤマメは、いすで1日泳がせておなかの中身を出しきって調理する。座敷席の他にテーブル席も5卓ある。

ふっくら厚みのあるヤマメを丸かじり。

食堂 駒どり

BRT彦山駅の目の前にある1950年創業の老舗。新鮮なヤマメと鯉の料理が名物で、注文ごとにいすから水揚げして調理。味もボリュームも満足度が高い。ヤマメ刺身は自家製柚子ごしょうとの相性抜群。

☎0947-85-0745 ⑥添田町落合804 ⑦11:00～19:00
⑧水曜(祝日の場合は営業) ⑨BRT彦山駅から徒歩約1分



★泊まるなら、こちら…★



Rural Glamping 星to虹

るーらるぐらんぴんぐ ほしとにじ

英彦山の麓にあたる津野地区に、2021年7月にオープン。広々としたテントと充実した施設に1泊2食付きで泊まれる。しいたけ狩り、さつまいも掘りなど、季節に応じた農家体験も好評。

☎070-8525-7218 ⑥添田町津野1297 ⑦なし
⑧1泊2食1名19,000円(税・サービス料込)※小学生以下半額、食事・寝具不要の未就学児は無料(要連絡) ⑨JR添田駅から車で約15分(事前予約で送迎有)
チェックイン16:00～、チェックアウト～10:00



買って遊んで見て食べる！添田駅周辺の人気スポット。



添田 コース②

コース満喫目安時間：5～6時間

添田駅と南へ2kmほど行った歓遊舎ひこさん駅の周辺を満喫する1日コース。木々に囲まれてアドベンチャーを楽しみ、道の駅で買い物をして、古い商家で歴史を学んだ後は、人気店のグルメでおなかを満たす…。家族連れでも友人同士でも大満足間違いなし。



BRT時刻表



START

BRT 添田駅

BRTで6分

①道の駅歓遊舎ひこさん

徒歩1分

②フォレストアドベンチャー・添田

「歓遊舎ひこさん駅」よりBRTで9分～13分(便により異なる)

BRT 添田駅

徒歩15分

③中島家住宅

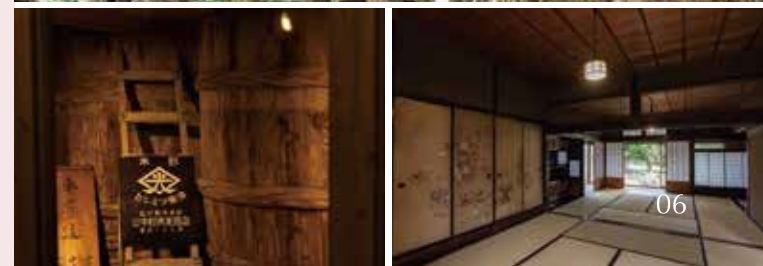
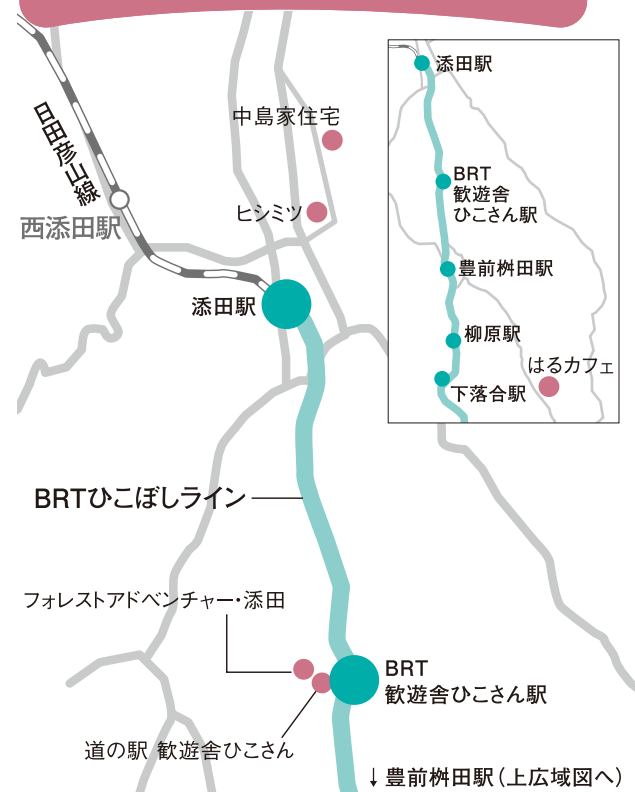
徒歩6分

④ヒシミツ

徒歩10分

BRT 添田駅

エリアマップ





旬の野菜や
名物グルメが
広い店内にずらり。

①道の駅 歓遊舎ひこさん

英彦山へ向かう観光客はもちろん、地元の方や飲食店を営む方も、添田の肥沃な大地で育った新鮮野菜を目当てに訪れる人気の道の駅。物産館では、惣菜や地酒、工芸品なども売られている。また屋外には、遊具が充実した「こどもわくわくパーク」も。地域おこし協力隊を中心に営業する観光案内所兼カフェでは、添田英彦山ブランド珈琲や季節限定メニューを味わうことができる。

☎0947-47-7039
〒添田町野田 1113-1 図9:00~18:00
図12/31~1/3、2月の第1木・金曜



①地元素材を使った加工品や調味料、新鮮野菜がずらりと並ぶ店内。②「道の駅歓遊舎ひこさん」で売られている、手間ひまをかけて作られた添田町産の一味唐辛子と粉末ゆづしょう。③右からご当地サイダー「英彦山サイダー」、添田町の米を使った新商品の「米サイダー」と「添田ライスラガー」。④令和7年11月にオープンした、カフェ併設の観光案内所。土・日曜・祝日に営業を行っている。



3

徒歩1分



5

スリルも楽しい！
杉林を利用した
自然遊びのレジャー施設。

②フォレスト アドベンチャー・添田

大人向けのアドベンチャーコースと、難易度を下げたキャノピーコースの2種類があり、ハーネスや事前講習もあるので安心。またハーネスなしで楽しめる簡易アスレチック「リトルクエスト」や牧場、トランポリンなど小さな子ども向け付帯施設も充実しているので家族で楽しめる。

☎080-3975-4010 図添田町野田 1288-3 図9:00~17:00(受付は 15:00まで)、ナイトフォレスト18:00~ 21:00(※前日までに要予約)
図火・木曜 ※長期休業中(夏休み 等)は営業を行います。 図アドベンチャーコース1人4,000円、キャノピーコース1人3,000円、リトルクエスト 1,000円



⑤子どもにも大人にも人気のジップスライド。⑥フォレストアドベンチャー受付横に残る、駅名標。⑦背の高いスギを使ったスリル満点のアクティビティを順番にクリアして楽しむフォレストアドベンチャー。付き添いの人も一緒に森に入って見守ることができる。⑧アドベンチャーコースの所要時間は平均1時間半~2時間。⑨キャノピーコースはキッズやシニアも楽しめるコース。



BRT添田駅



BRTで9~13分



10



⑩国指定重要文化財の中島家住宅。瓦屋根や大戸の黒と、真っ白に輝く漆喰壁のコントラストが目を引く。⑪中島という名字は商売が繁盛した1860年代頃から使われ始めた。⑫酒蔵の中には、岩石山の伏流水を汲み上げていた井戸が残る。

☎0947-82-1236
(添田町商工観光振興課)
図添田町添田 1860
図水曜~日曜の10:00~16:00
図月・火曜(祝日の場合は開館し水曜 休館)、12/25~1/5
図入館無料



徒歩15分

徒歩6分

地元食材を発信する
和風イタリアン。

④ヒシミツ

家業だった醤油蔵をリノベーションした店内で、ピザをメインに和の要素も取り入れたイタリアンを提供。「添田の食材のおいしさを伝えたい」と旬の野菜をたっぷり取り入れ、子どもからご年配まで笑顔に。ピザはバラエティ豊かで飽きないとりピーターも多い。

☎0947-31-4192
図添田町添田 1999
図11:00~16:00
(LO14:30)
図日曜・祝日



13

⑬人気のランチコースは前菜プレート、メイン(パスタまたはリゾット)、ピザバイキング、ドリンク付きで2,640円。オーダーバイキングのピザはなんと20種類以上食べ放題! ⑭注文に応じてピザ窯で焼きたてを。⑮72席が満席になるので平日も予約がベスト。カウンター席で一人利用もいい。



14



15

こちらもおすすめ



英彦山の麓、自然あふれるロケーションが魅力。

はるカフェ

地元野菜をふんだんに使った、体に優しいメニューが人気。なかでも一押しは、天然ミネラル豊富な山水で育った自家精米のおむすびに、具だくさんの豚汁がセットになったボリューム満点の「おむすびランチ」。食事のほかにも、こだわりのコーヒーや手作りのケーキ、マフィンなどもおすすめだ。

☎0947-85-0087 図添田町大字樹田 638-1
図カフェ 10:00~16:00、ランチ 12:00~14:00 ※数量限定のため予約がおすすめ
図火・水・木・金曜 ※臨時休業あり 図JR添田駅から車で約10分

